様式３(2020.06改)

作成日　令和　2年　10月　6日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000044
事業所名	グループホーム 喜寿苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	町内会に加入し積極的に地域の草取りや防災訓練、祭礼などに参加したり、事業所主催の夏祭りには毎年大勢の地域の方が集い入居者と一緒に交流する機会としている。下校時の地域の子どもの見守隊や学童の居場所としての「エミッ子広場」、定期的な「ぬくといカフェ」など地域のコミュニティとしての役割を担っている。ボランティアによる踊りや楽器の演奏、保育園児との交流、小中学校の運動会や学芸会の参加、力士の慰問など、地域に住む人たちとふれあう機会を大切にしていたが、コロナ禍の中で踏みとどまっている。ホーム周辺や中庭での散歩、ドライブでの散策、ホーム内の祭りでゲームやバイキングなどを楽しむ中で地域との催しの余韻を思い出すようにしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	正副自治会長、民生委員、地域包括センター職員、寿宝会職員の参加を得て年6回実施し、入居者の生活の様子や行事の報告、事故報告、熱中症や感染症や防災や防犯、イベントなどについて参加者と積極的な話し合いが行われ有意義な会議としているが、新型コロナウィルス感染症予防対策の一環として3月からは書面での会議開催を実施し、家族、市や地域の役職には報告書を出している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	担当窓口には、認定書類や申請の代行業務などで出向き、活動報告やサービスの内容などを伝え、良好な協力関係を築いている。地域包括とは運営推進会議への出席、入居者の状況や地域の困難事例の相談など、必要に応じ連絡を取り情報交換をしている。グループホーム協議会の主催する「グループホーム合同作品展」や「輪投げ大会」、研修会など積極的に参加をしていたが、、現在は自粛をしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聴き、記録して職員間で共有しケアにつなげている。家族からは面会時や家族会、行事の折に意見や要望を聞き、ケアや業務改善に役立てているが行事は自粛している。面会はリモート対応の環境が整わないため、電話又は、予防対策を強化しながら状況を見てエントランスと廊下を挟んで実施できるように工夫をしている。毎年、接遇やサービス内容、施設の環境などについて家族アンケートを実施し、内容を分析してサービスの向上に役立てている。意見箱を設置し意見を述べやすい環境を整えている。入居者の日ごろの様子を記載したグループホーム便りを毎月発行して家族に安心を届けている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

・運営推進会議については、新型コロナウィルス感染症予防対策の一環として3月からは書面での会議開催を実施し、報告書を家族、市や地域の役職に出して家族や地域との情報のパイプが途切れないよう努めている。ホーム周辺や中庭での散歩、ドライブでの散策、ホーム内の祭りでゲームやバイキングなどを楽しむ中で地域との催しの余韻を思い出すようにしている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										